

# カウンセリングルーム便り

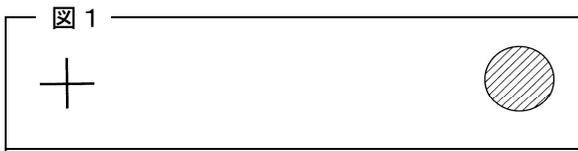
No. 8

2024(令和6)年12月  
スクールカウンセラー  
竹之上房幸

## 見ているものと見えているものとは違う？！

左目を閉じ右目で図1の左側の十字（プラス）を見てください。そして十字から目をそらさず目と図の距離を調整していくと、円が消えてしまう位置があるでしょう。そこが「盲点」です。

「盲点」は、網膜の構造に由来しています。図2は私たちの眼球を示していますが、網膜は構造上、視神経が眼球の内側にあります。この視神経を脳に接続するにはどこかに穴をあけて視神経を外に出す必要があります。この「穴」が盲点です。盲点には視神経がないため、そこに写る映像は見えないのです。



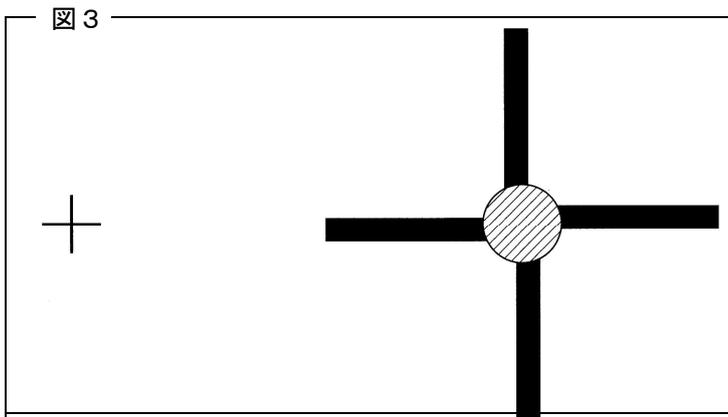
ここで、もっと興味深い体験をしてみましょう！

図3を見てください。この図では、盲点に入る円の周りに、大きな太い十字が描かれていますが、この4つの「柱」は、よく見ると互いに上下左右にズレて配置されていますね。つまり、正確には十字になっていません。

ここで、先ほどのように左目を閉じ右目で図3の左側の十字（プラス）を見て、盲点の領域と一致させてみてください。

図1の事例から考えるなら、円が消えて見えることは分かりますね。でも、もっとビックリすることが起こっていませんか？

上下、左右の「柱」がそれぞれズレのない（つながった）棒になって、「きれいな十字の柱」になって見えるでしょう！



このズレが確認できる場所は、盲点で隠されている部分です。

すると、盲点の中身を描こうとする私たちの脳のシステムは、上下・左右の柱はつながったものだろうと、勝手に解釈してつなげてしまうのです。実際に見えている上下・左右の柱の空間的な位置関係が、この盲点の知覚に合わせるように変更されてしまうのです。

こうした知覚現象から、私たちが見ている知覚世界は、実はつくられたものであるということが分かります。つまり、目の前にある画像と、見えている知覚は、必ずしも同じではないのです。 <出典：『ゼロからはじめる心理学・入門』金沢創 他著 より>

### 12月・1月のスクールカウンセラー出勤日

12月	4日(水)	11日(水)	18日(水)
1月	8日(水)	15日(水)	22日(水) 29日(水)